

# なかよし！キッズ荒神っ子クラブ

## できました。

発令されていた緊急事態宣言が解除となり、さあスタートという時期に応募募集がはじまった荒神山自然の家主催事業である「なかよし！キッズ荒神っ子クラブ」。実際何名の応募があるか不安ななか開催準備を始めました。

10月も押し迫った31日の日曜日。当日は、小学校1年生から3年生までキッズ12人の子どもたちがここ、彦根市荒神山自然の家に集まってくれました。週間天気予報では安心していただけの天気、直前に雨予報に。迎えた本日、今にも降り出しそうな分厚い雲は垂れ込めてはいないものの多少の雨がまさにしよぼついていたという様子。このままひどくならないことを願いつつ準備を始めたところなんとはじまる頃には日が差してきました。そのような中でスタートしました。内容は、安全、安心をモットーに感染症予防対策を徹底しながらの開催ということでいつもどおりの活動とはならず制限をしながらの取り組みとしました。はじめのつどいには始まり、自己紹介タイム、荒神山ハイキング、昼食、トートバッグ作り、おやつタイム、記念撮影、おわりのつどいと流れていきました。

はじめのつどいには、予定していた子どもたち全員が元気に参加し、いよいよキッズ荒神っ子クラブがスタートしました。最初に班ごとに集まって、ボランティアスタッフのリーダーが中心となって自己紹介から始まりました。最初緊張していた子たちも和やかな雰囲気次第に笑顔が増えていきました。次の活動は、「荒神山ハイキング」です。自然の家の夜の活動プログラムのひとつであるナイトハイキングのふたつある中のひとつ、Bコースを歩きます。コース地図をたよりにクラフト棟をスタートします。ゴールは同じクラフト棟。途中クイズやゲームがあつてなかなかこれが大変。いきなりの出題が「赤い実をさがそう」。さあどこにあるかでみんなが一斉にあたりを探索。見つけたときには大喜びでポイント



通過となりました。

じゃんけん

に全員が勝ったら通過や所員スタッフの名前をいえたら通過できるなど悔しがったり、喜んだりしながらも約2キロほどのコースを全員が完歩しました。

昼食は野外クッキング、といきたかったと

ころですが今年は断念。仕方ないとはいえすこし心残りでした。しかし、食堂でのおいしいカレーに大満足でした。午後は、クラフト活動としての「トートバッグ作り」になります。まず机に新聞紙を敷いて、筆などを洗い道具を準備してさあ始めます。



集めてきた落ち葉を使ってトートバッグにスタンプです。バッグに集めてきた葉っぱなどに絵の具を塗って上に紙をおき、バレンでこするのですが、やはりキッズ。思うようにこすれないけどそこはご愛敬。スタッフなどの力を借りて完成。自分だけのオリジナルバッ

クができあがったときには、そのできばえを見てにんまりしたり、友達同士見せ合いをしたりと、和やかな時間を過ごしました。その後、おやつにポップコーン作り。はじける音を楽しみにしていましたが、なんとなく聞こえたような・・・?でもこおばしくおいしくできあがりま



最後に、終わりのつどいをして荒神山自然の家の幸せスポットの小山で記念撮影をし、解散しました。早速、子どもたちは、保護者の方に今日の活動を笑顔で話している姿が見られました。

なお、この事業を行うために、10月24日（日）に支援スタッフに向けた事前研修会を開きました。クラフト作りでなれない面もありましたが、意欲的に活動できました。また、おやつのポップコーン作りも作業手順の確認ができました。事前研修会をすることによりスタッフも当日の流れや内容が把握でき、当日はゆとりを持ち子どもたちに関わることができていたと感じます。

これからも子どもたちにかぎらず幅広い年齢層の方々が、荒神山自然の家に来て、たくさんの友だちとの出会いやお互いに楽しい時間が過ごせるように、さまざまな企画を考えてお待ちしております。

